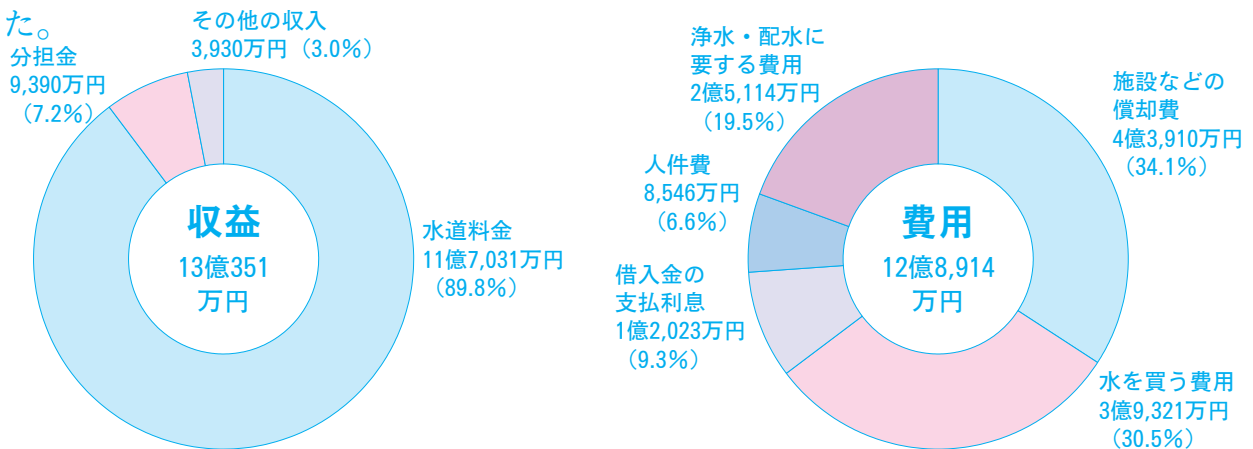


## 平成20年度決算のあらまし

水道事業は、地方公営企業法に基づき経営し、皆さまの水道使用料金を主な収入源として、独立採算制で運営しています。水道事業会計には、水をお届けするための予算【収益的収支】と、施設を作るための予算【資本的収支】の2種類の予算があります。

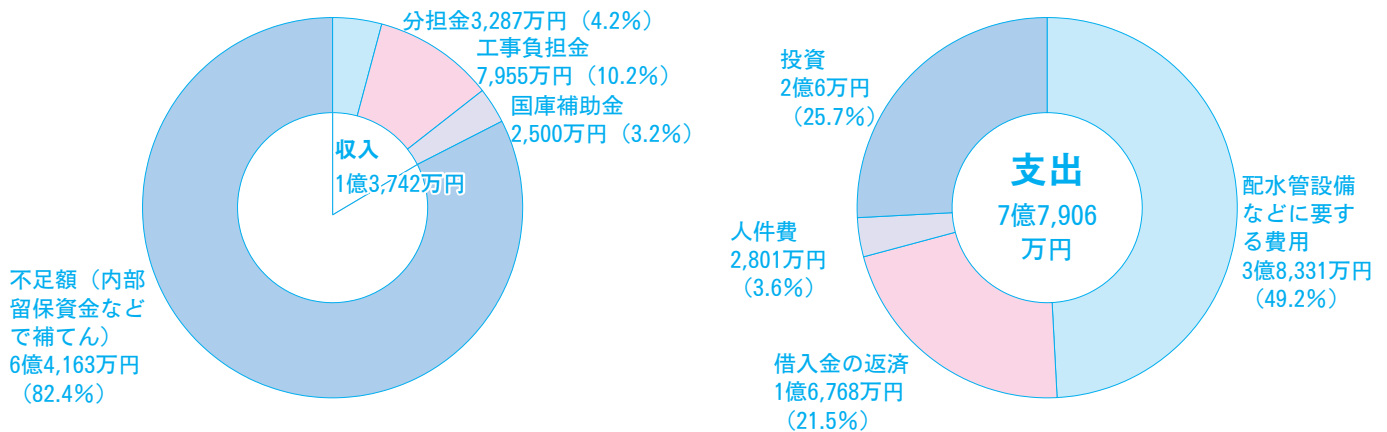
### 【収益的収支】 <<消費税抜き>>

平成20年度〔平成20年4月～平成21年3月〕の収益的収支の収入（収益）は13億351万2,625円、支出（費用）は12億8,913万5,995円となり、この結果1,437万6,630円の利益が生まれました。



### 【資本的収支】 <<消費税込み>>

資本的収支の収入は1億3,742万4,257円、支出は7億7,905万5,626円で、6億4,163万1,369円の不足が生まれました。支出は建設改良費が4億1,131万5,984円、企業債返済金は1億6,767万9,732円、また、資産運用として平成20年度から国債を購入したことにより、投資2億5万9,910円となりました。不足額については、減価償却費などの現金の支出を伴わずに留保されている資金により補てんしました。



### 【業務量】

平成20年度	
(1)給水戸数……………	24,133戸
(2)給水人口……………	65,292人
(3)年間総配水量……………	7,348,352m <sup>3</sup>
(4)一日平均配水量……………	20,132m <sup>3</sup>

### 主な事業

安全で安定した給水を行うための配水管整備事業として723mを布設し、吉川駅南特定区画整理事業等の管網未整備地区への配水管布設として1,745m、さらに、配水管路耐震化、漏水防止を図るため石綿セメント管の布設替えを3,871m実施し、延べ6,339mの配水管整備を行い、災害に強い施設づくりと安定供給に努めました。